

2026年7月7日  
首都圏 CCS 株式会社  
株式会社 INPEX  
関東天然瓦斯開発株式会社

## 千葉県九十九里沖での CCS 試掘 1 坑目（九十九里沖 J-1）作業の開始について

株式会社 INPEX ならびに関東天然瓦斯開発株式会社の合併会社である首都圏 CCS 株式会社（本社：千葉県千葉市中央区、代表取締役社長：屋 義昭、以下「首都圏 CCS (株)」）は、千葉県九十九里沖で二酸化炭素回収・貯留（CCS）の可能性を調査するため、今年4月に経済産業大臣より当該海域における試掘の許可を取得\*1いたしました。その後、掘削調査の実施に向けて各種準備作業を進めてまいりましたが、このたび、本事業における試掘 1 坑目となる「九十九里沖 J-1」の作業を7月6日に開始しましたので、お知らせいたします。

九十九里沖 J-1 は、千葉県九十九里沖合約 5 キロメートルの地点において CO<sub>2</sub> の貯留に適した地層の存在を確認することを目的としています。今後予定している試掘 2 坑目（九十九里沖 J-2）の評価データとあわせて、詳細な解析・評価作業を実施し、当該海域における CO<sub>2</sub> の安全かつ長期的な地下貯留の能力を評価する予定です。

また、首都圏 CCS(株)は、2026 年 6 月末に千葉県山武郡九十九里町に「うみとみらい CCS コミュニケーションセンター」を開設しました。本施設では、CCS の仕組みや首都圏 CCS 事業の内容を分かりやすく発信するとともに、地域の皆さまをはじめとする来訪される方々との双方向のコミュニケーションの場として活用してまいります。

首都圏 CCS 事業は日本製鉄株式会社東日本製鉄所君津地区および京葉臨海工業地帯の複数産業を排出源とする CO<sub>2</sub> を回収、パイプラインで輸送の上、千葉県九十九里沖の海域に貯留することを目指す CCS 事業で、首都圏 CCS(株)は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）より受託した「先進的 CCS 事業に係る設計作業等\*2」において 2030 年代初頭までの貯留開始を目標に調査・検討を進めています。

今後も、漁業関係者をはじめとする地域の皆さまや、関係自治体および機関などのご理解とご協力をいただきながら、安全最優先で掘削作業を遂行するとともに、調査および検討を引き続き実施してまいります。

\*1 千葉県九十九里沖での CCS 事業における試掘の許可について

<https://mccs.inpex.co.jp/news/news12.php>

<https://www.inpex.com/news/2026/20260415.html>

<https://www.gasukai.co.jp/news/filedownload.php?name=cb05c05012cd14e79fe9c57da3dd2e6b.pdf>

\*2 CCS 事業の普及と拡大に向けた支援を目的とし、事業性調査に加えて、分離回収・輸送・貯留に係る詳細設計を行う「CCS バリューチェーンにおける設計作業」および試掘調査などを行う「CO<sub>2</sub>貯留予定地の貯留ポテンシャル評価作業」を実施するもの。

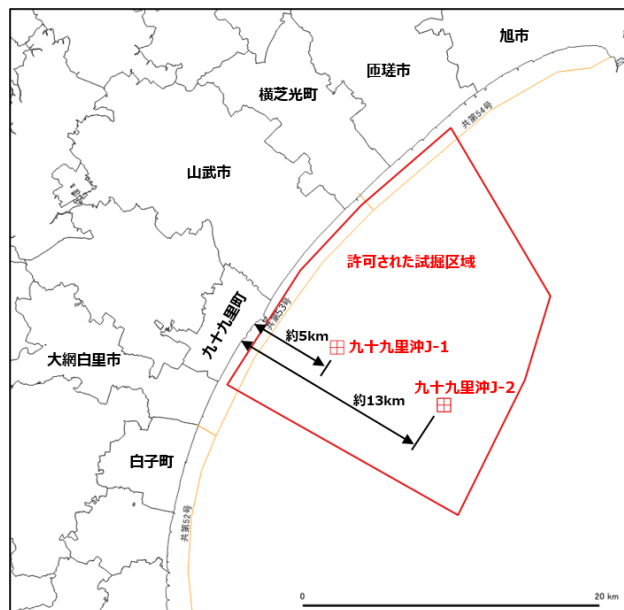
#### ■お問い合わせ先

首都圏 CCS 株式会社 渉外・広報グループ

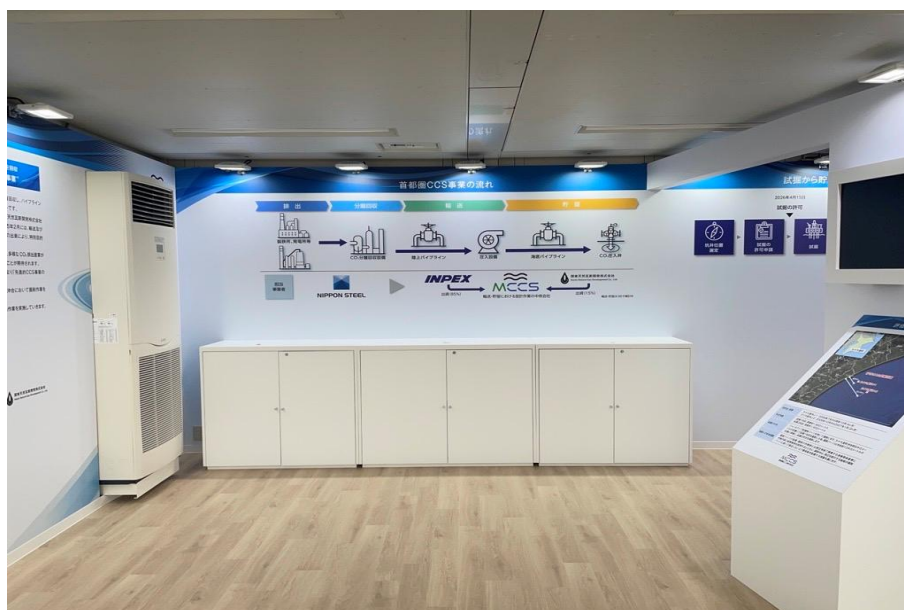
お問い合わせ | 首都圏 CCS 株式会社

株式会社 INPEX 広報グループ TEL：03-5572-0750

関東天然瓦斯開発株式会社 管理部 総務グループ TEL：0475-23-1313



許可試掘区域と坑井の位置図



うみとみらい CCS コミュニケーションセンター展示エリア  
 住所：〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関 2347-98 地先  
 (海の駅 九十九里 第二駐車場横)  
 開館時間：10時～16時 休館日：火曜日、水曜日、年末年始



片貝海岸から望む掘削リグ(中央)



片貝海岸から望む掘削リグ(望遠)